

第18回対話の場について

第18回

- 日時：2024年4月15日（月）18：30～
- 場所：漁村センター
- 出席者：委員14名、ファシリテーター6名、神恵内村役場、北海道経済産業局、北海道庁、NUMO

＜今回の対話の場の内容＞

- ◇ 運営委員会の開催結果報告
- ◇ 文献調査報告書(案)に関する報告
- ◇ 4つのテーマによるテーブルワーク

＊「文献調査と地層処分」「神恵内の防災」「まちづくり」「地層処分についてもやもやしていること」

◆ 運営委員会(3/25)の開催結果報告

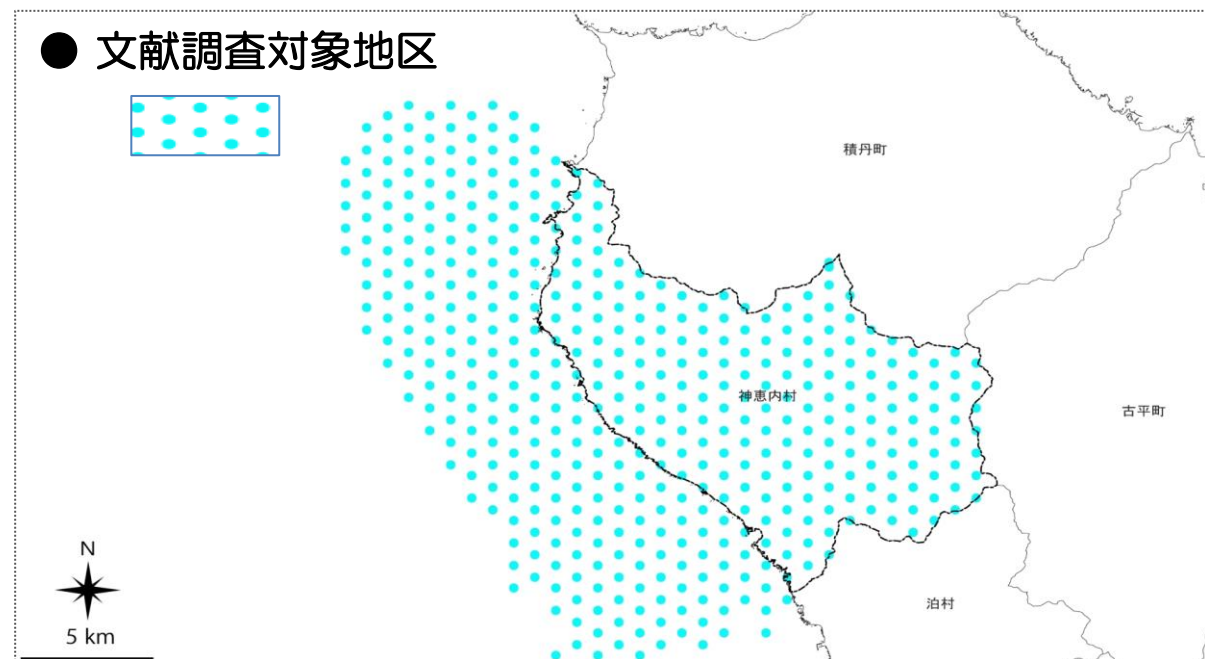
- 文献調査報告書(案)を今回と次回(第19回)の対話の場で説明することとしました。
- 任期満了に伴う「委員継続の意向確認」と「公募」を行うことを確認し、それぞれ実施の結果、1名の方の退任、1名の方の応募があり、委員は17名となりました。

◆ 文献調査の報告書(案)に関する報告

※報告書（案）については、現在、国の審議会で審議中です。

- NUMOから文献調査報告書（案）を説明しました。今回の主な説明事項は次のとおりです。

- ・ 文献調査対象地区
- ・ 8つの調査項目と調査結果まとめ
- ・ 概要調査地区の候補
- ・ 8つの調査項目のうちの4項目
「マグマの貫入と噴出」「侵食」
「第四紀の未固結堆積物」
「鉱物資源」

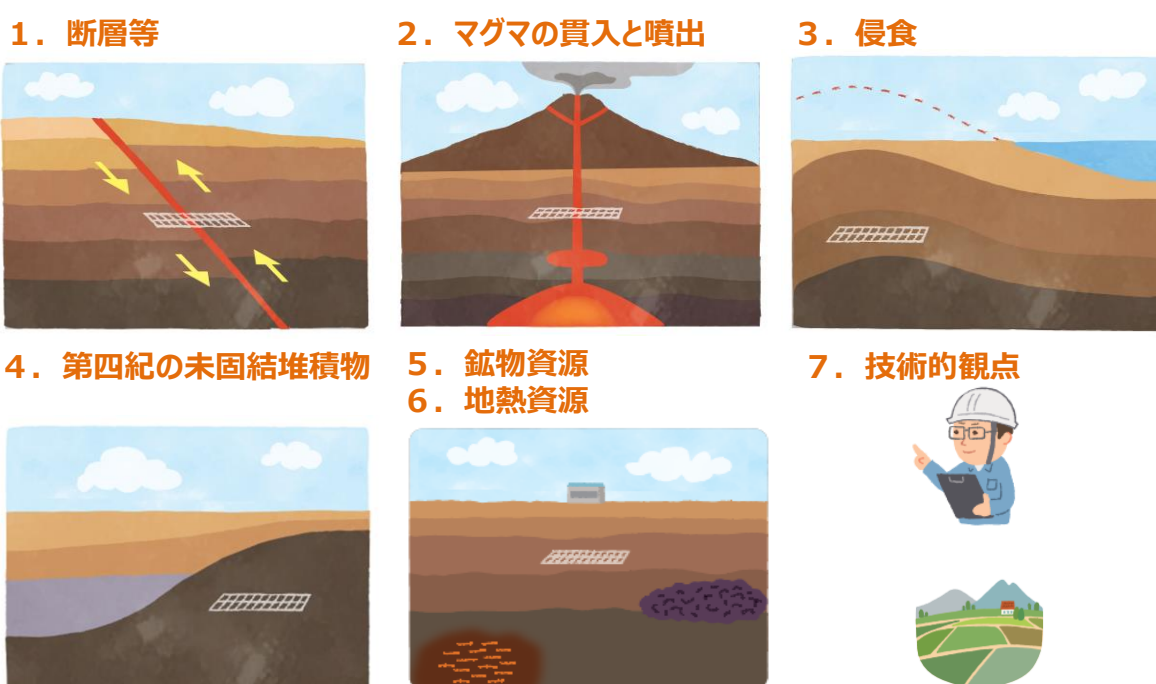


※「神恵内村全域と、その海岸線から15km以内の大陸棚」を調査。なお、神恵内村周辺についても文献・データを収集しました。

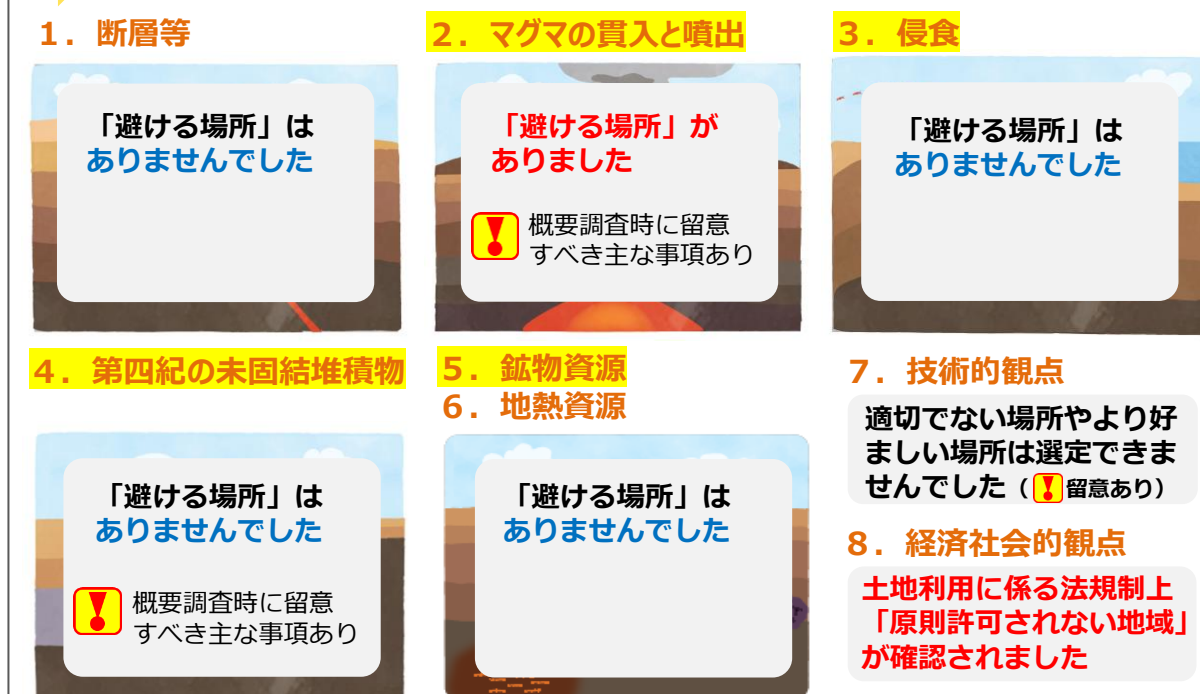
● 8つの調査項目と調査結果まとめ

※黄色マーカーは今回説明した4つの調査項目

8つの調査項目

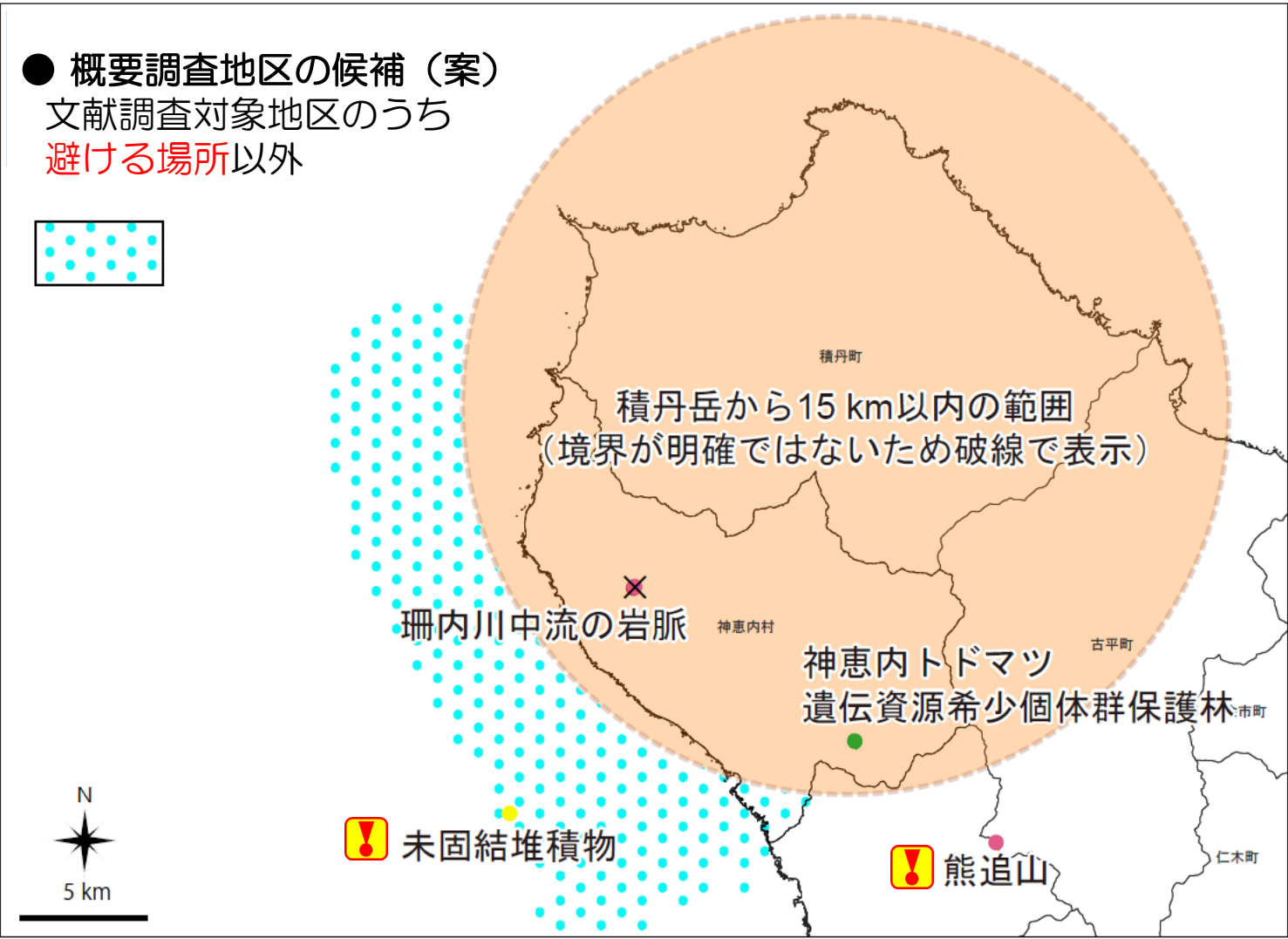


調査結果まとめ：神恵内村



● 神恵内村の概要調査地区の候補（案）

➤ 文献調査対象地区のうち、「積丹岳から15km以内を除いた範囲（境界は明確でない）」を概要調査地区の候補（案）とします。



【凡例】

＜避ける場所＞

× 噴火（珊内川中流の岩脈）



噴火（「積丹岳」の活動中心が明確ではなく、15kmの境界が明確ではないため破線で表示）



経済社会的観点からの検討（土地利用が原則許可されない地域）



概要調査時に留意すべき主な事項



噴火に関する事項
（珊内川中流の岩脈, 熊追山）



第四紀の未固結堆積物に関する事項

● 調査項目：マグマの貫入と噴出 ⇒「避ける場所」がありました

➤ 火山活動によるマグマの貫入や噴出により、処分場が破壊されるおそれがあるため、以下の基準に該当する場所は、避けます。

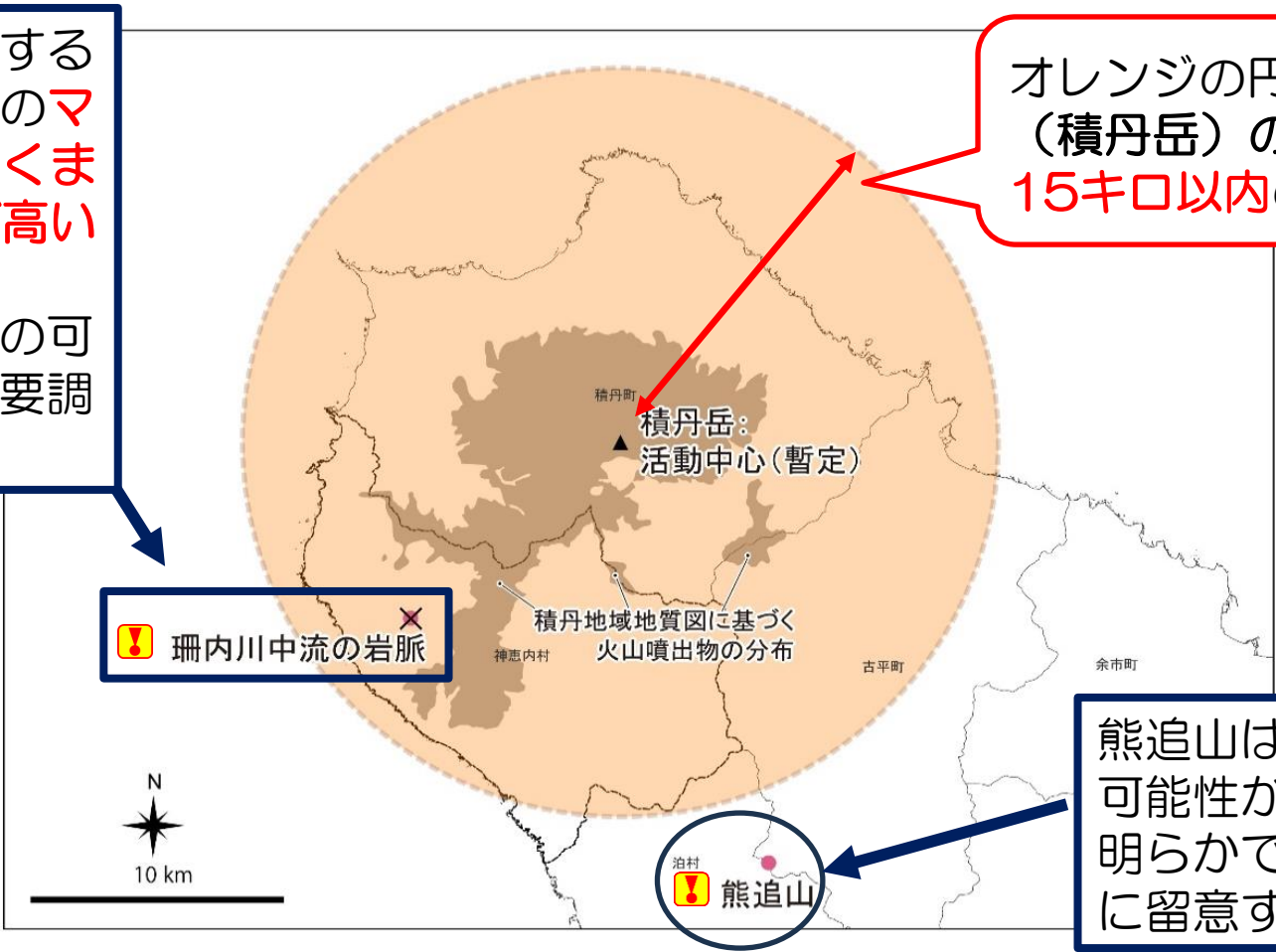
－ 避ける場所の基準 －

- （ア）第四紀※1の火山のマグマが地表やその近くまで来た跡※2など
- （イ）第四紀に活動した火山の中心※3からおおむね15キロメートル以内
- （ウ）上記（ア）（イ）ではないが、新たな火山が生じる

※1：約258万年前から現在、※2：火道や岩脈など、※3：火口などにより定める

➤ 神恵内村及び周辺では、主に以下の火山活動との関連性が考えられる火山（積丹岳）、火山噴出物、岩脈（珊内川中流）などを確認できました。

・珊内川中流に分布する岩脈は、第四紀火山のマグマが地表やその近くまで来た跡の可能性が高いので避ける。
・積丹岳と違う火山の可能性があるので、概要調査時に留意する。



オレンジの円の範囲は、第四紀火山（積丹岳）の活動中心からおおむね15キロ以内のため避ける。

熊追山は、第四紀の火山の可能性が指摘されているが明らかでない。概要調査時に留意する。

● 調査項目：侵食 ⇒「避ける場所」はありませんでした

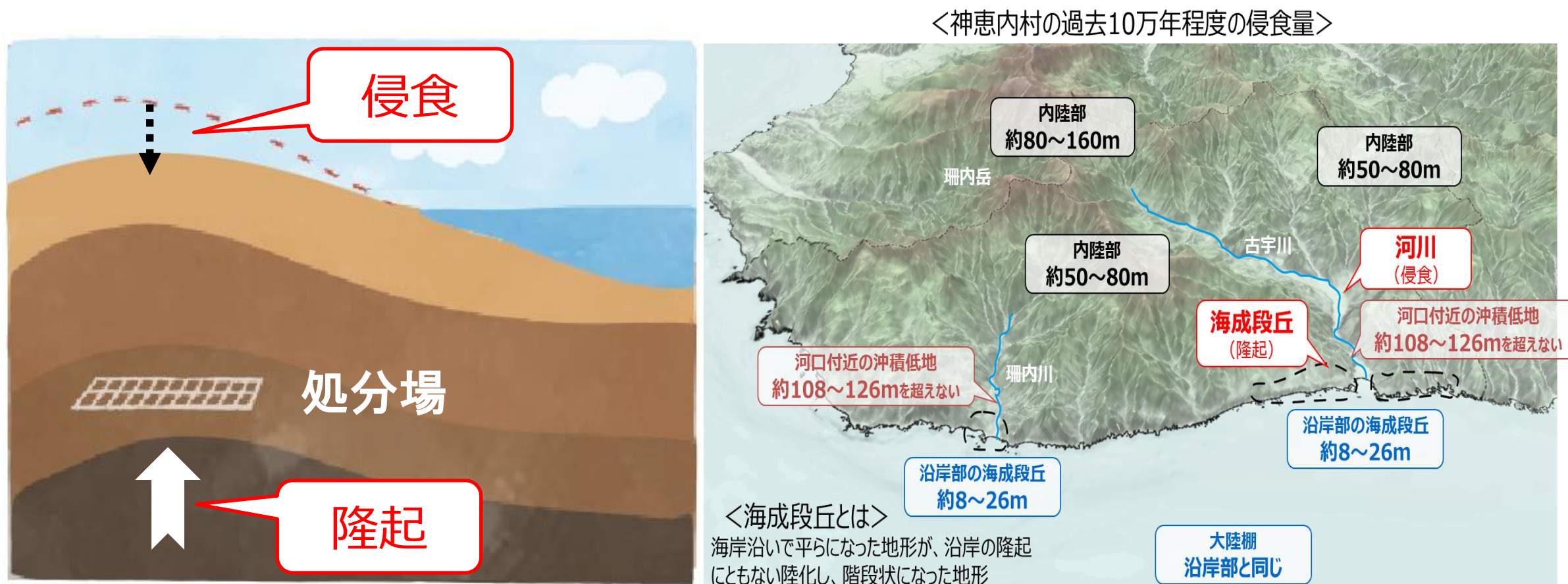
- 10万年後、処分場が建設された土地に隆起と侵食が生じると、処分場が地表に近づくため、以下の基準に該当する場所は、避けます。

－ 避ける場所の基準 －

- (ア) 過去10万年程度の最大侵食量が処分場を設置しようとする深度※を超えている
または ※ 深度：300m以深
- (イ) 侵食による深度の減少を考慮すると、10万年後において、処分場を設置する地層について 70mより深い深度を確保できない

- 山、河口、海成段丘など地形ごとに過去10万年の侵食量を推定して評価した結果、避ける場所は、ありませんでした。

※侵食（しんしょく）とは、雨・流水・風・波・雪・氷河などの作用によって地表が削られること。
隆起（りゅうき）とは、地殻変動によって地面が高度を増すこと。



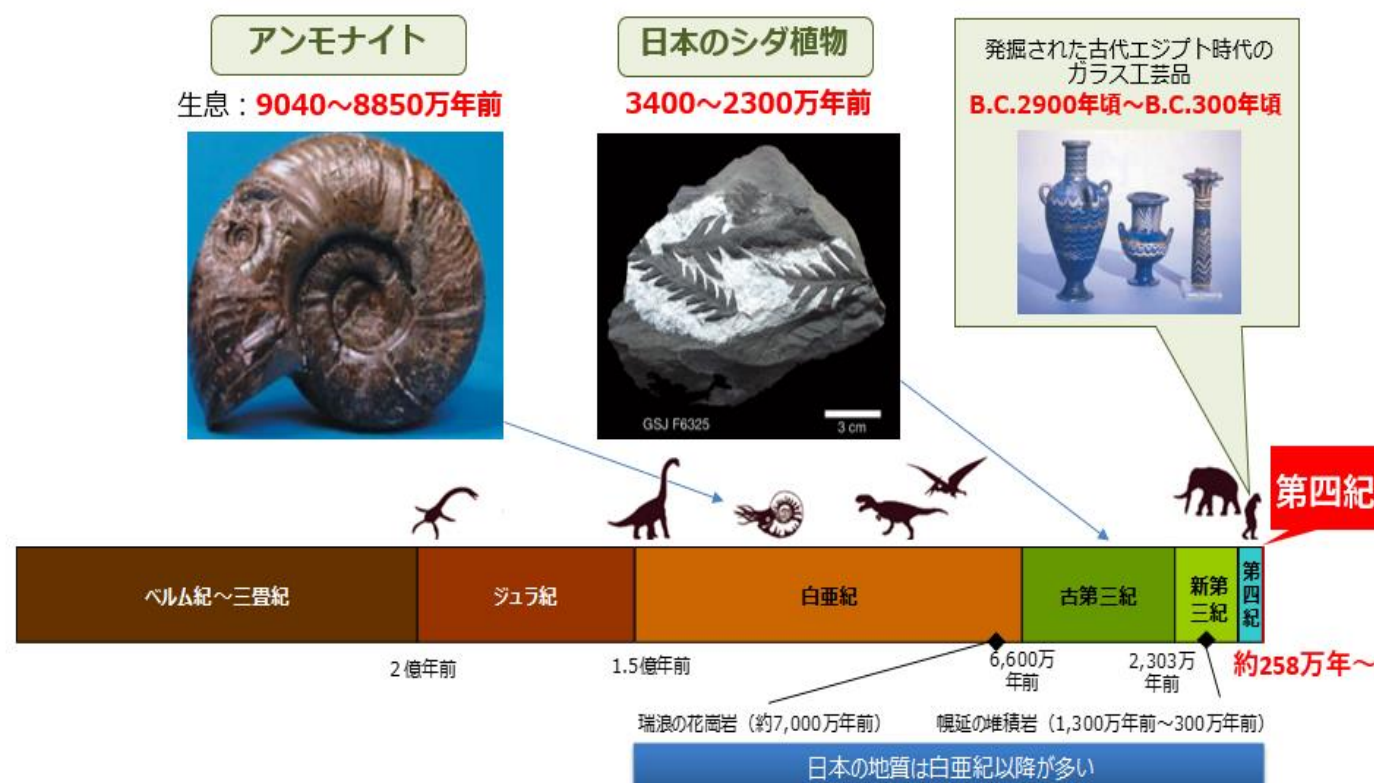
● 調査項目：第四紀の未固結堆積物 ⇒「避ける場所」はありませんでした

- 未固結堆積物とは、十分に固まっていない砂質土や礫質土、火山噴出物等のことです。
- 処分場を設置しようとする深さ（地下300m以深）について、以下の基準に該当し、強度が不十分で坑道が建設できないような場所は、避けます。

－ 避ける場所の基準 －

- (ア) 第四紀の地層であり、かつ
- (イ) 未固結ないし固結度の低い砂質土や礫質土ならびに火山灰、火山礫、軽石等からなる火山噴出物等

- 神恵内村の陸域については、避ける場所はありませんでした。 海域では、神恵内湾西方沖の大陸棚の端付近に分布している可能性があります。



処分場を設置しようとする深さ（300m以深の地層）に未固結堆積物がある場所は避ける



● 調査項目：鉱物資源 ⇒「避ける場所」はありませんでした

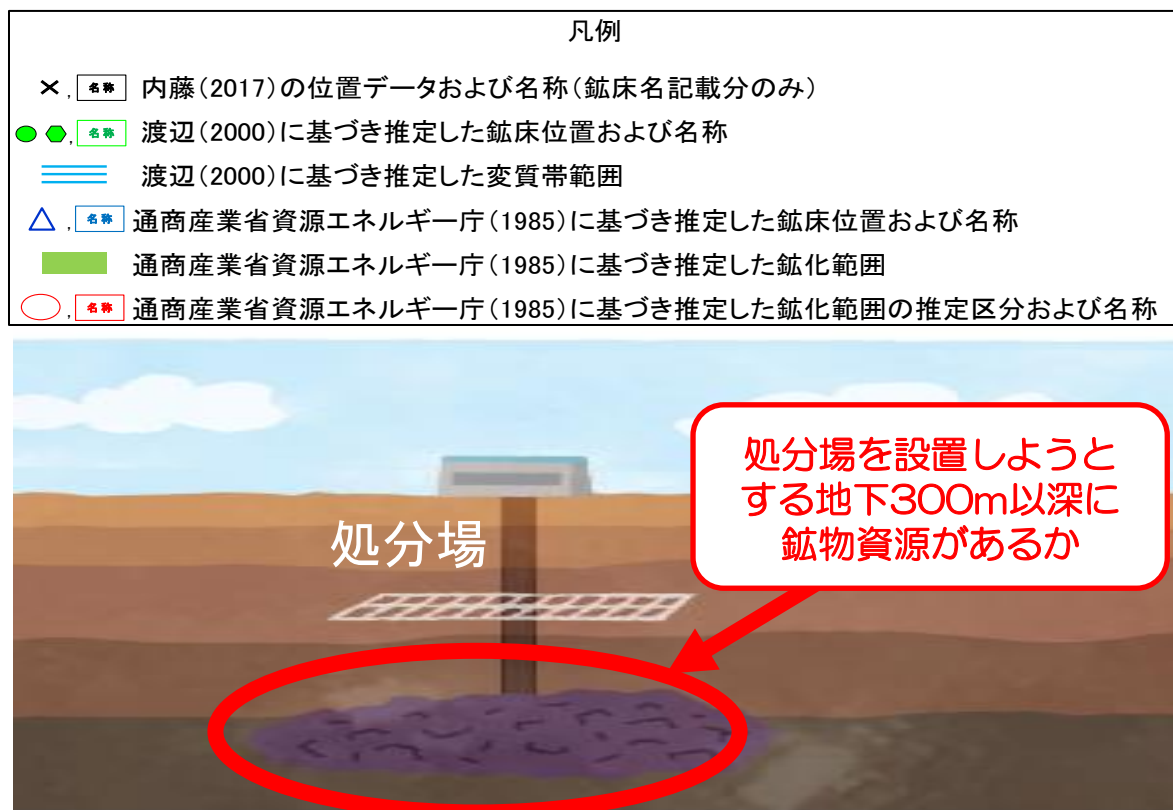
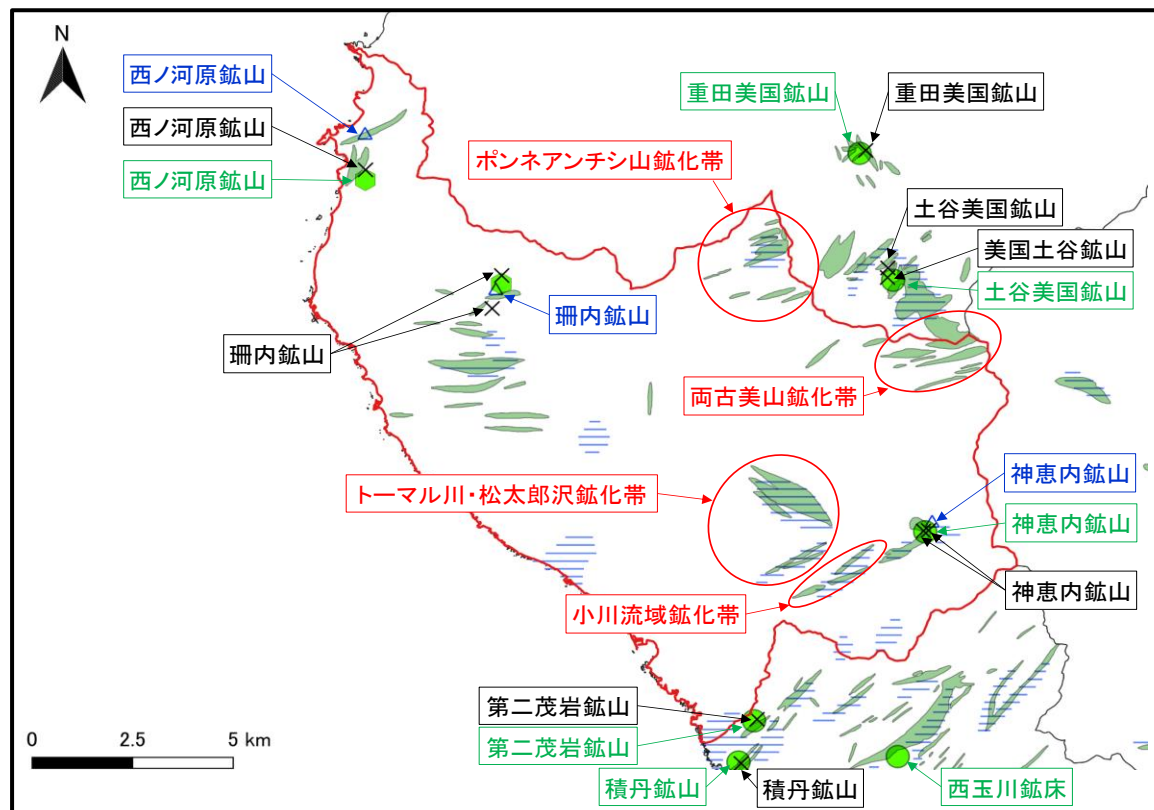
- 地下に経済的価値の高い鉱物資源がある可能性が高い場所は、将来、掘削等の恐れがあり、人間が誤って放射性廃棄物に触れてしまう可能性があるため、以下の基準に該当する場所は、避けます。

－ 避ける場所の基準 －

(ア) 現在稼働中または近年稼働していた**鉱山の鉱床**など

(イ) 上記(ア)以外の鉱床などで、ほかの地域で**現在稼働中または、近年稼働していた鉱山の鉱床など**と同程度の埋蔵量があるもの

- 神恵内村では、過去に稼働していた鉱山や未開発の鉱床が確認できましたが、**将来掘削される可能性が高い鉱山等はないため、避ける場所はありませんでした。**



◆ テーブルワークでの意見や質問

★多くの意見や質問から一部を紹介！

A 文献調査と地層処分

B 神恵内の防災

C まちづくり

D もやもや

<文献調査>

- Q. 文献調査で調べた土地は、概要調査で改めて調査するのか？
A. 概要調査でも改めて調べる。

<防災>

- Q. 地震で道路が壊れたり、雪で避難路が通れない時の津波避難はどうしたらよいのか？
A. あらかじめ避難所以外の一時避難場所も防災マップで確認しておき、状況に応じて少しでも高く、行きやすいところを目指し避難してほしい。

<まちづくり>

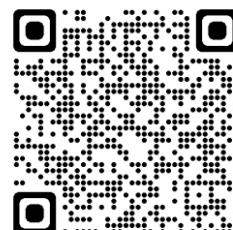
- ・神恵内村は学生への施策（奨学金の補助など）が手厚いので、そのことをもっとアピールしたら良いのではないかな。
- ・村から離れてしまった人に、村を離れた理由を聞いて、そこから今後の村づくりについて、考えてみてはどうか。

<もやもや>

- ・神恵内村のどこに鉱山や鉱床があるのかわかるように、現在の資料と併せて神恵内村の衛星写真の地図を用意してほしい。

配付資料や映像は、
NUMOホームページでご覧いただけます。

NUMO 
<https://www.numo.or.jp/>



当日の資料などについては、神恵内交流センターにおいても配布しております。より詳しい内容にご関心のある方は、神恵内交流センターまでお気軽にお問合せください。 電話番号:0135-67-7711(代表)

神恵内村対話の場 委員名簿（第 18 回以降）

（あいうえお順）

	氏名	所属等
1	五十嵐 浩二	神恵内村社会福祉協議会
2	池本 美紀	魅力創造研究会
3	井田 和夫	公募
4	伊藤 拓也	公募
5	岡田 順司	神恵内村商工会
6	木下 史恵	神恵内村商工会
7	金田一 晃弘	古宇郡漁業協同組合
8	佐藤 義孝	赤石地区
9	柴崎 政弘	珊瑚内地区
10	鈴木 徳夫	公募
11	松屋 有信	老人保健施設神恵内ハイツ 998
12	宮下 美津	川白地区
13	村田 由紀子	古宇郡漁業協同組合
14	山王丸 千佳子	神恵内村 PTA 連合会
15	山森 昂	古宇郡漁業協同組合

他 2 名

以 上